

平成28年日本営業写真機材協会秋季研修会ご案内

日本営業写真機材協会

研修会

日時：平成28年11月30日（水）16:00～17:45

会場：ホテルアルカディア市ヶ谷 7F 白根 〒102-0073 千代田区九段北4-2-25

テーマ：「アンビリーバブル、あなたの知らない漢字の世界」

講演：岡 和男

懇親会

日時：平成28年11月30日（水）18:00～20:00

会場：ホテルアルカディア市ヶ谷 7F 妙高 〒102-0073 千代田区九段北4-2-25

立食形式（椅子を用意してあります）

会費：8000円

講演内容

今年も日本営業写真機材協会秋季研修会の季節となりました。

今回は「アンビリーバブル、あなたの知らない漢字の世界」、漢字の謎についてお聞き下さい。

漢字は日本語を記述する文字として重要です。近頃は全文ひらがなでメールを打つ人がいますが、日常の会話ならともかく、複雑な話は漢字を使わないと誤解のもと。子音母音とも少ない日本語では発音だけで意図通りに意思を伝えるのは困難です。「ごえんがない」と書いたとき相手の頭の中に「五円、御縁、誤嚥」のうちどれが浮かんでいるでしょう。漢字は必需品なのです。

しかし、漢字は字種が多すぎます。表音文字のアルファベットでは26字ですべてですが、これに較べると表語文字である漢字は10万字はあるといわれています。これが漢字使用を嫌う原因のひとつです。現在中国では3千～4千字あれば日常の生活に支障がないとされ、台湾でも小学1年生で覚える漢字数は3千字余と言われています。日本で常用漢字と称され義務教育で使うように教育されるのは2136字です。これでも記憶する者にとって大変な労力を使う字種数です。これで用が足りるなら頑張れますが、日常人名や書物の中に見たことない漢字が現れます。字典にも見当たりません。なぜこんなに字種が多いのでしょうか。原因は何、また必要なのでしょうか。

漢字は3200年前、黄河流域の湖南省あたりにあった殷で作られたかのように言われています。このころの殷墟から大量の甲骨文が発見されたからです。しかしそうでしょうか。出現のされ方が唐突です。それ以前に何かもとになるものがあつたのではないのでしょうか。実際黄河流域以外から文字らしきものが発見されています。果たして漢字の起源はいずこに。

一時期、漢字検定が流行ったことがあります。これは漢字文献の読書量・知識量を測り、その優劣を競うもので、決して漢字自体の知識を測るものではありません。

今回は漢字そのものについてお話ししたい思います。1時間半程度の時間ですので、極めて表層の情報に限られますが。

参加お申し込みは、添付申し込み書で日営協事務局までお寄せください。

申し込み締め切りは11月11日（金）です。

研修会場と懇親会場の地図は申し込み書にあります。

講演者から一言

今回の秋季研修会は「アンビリーバブル、あなたの知らない漢字の世界」と題して、「漢字」にまつわる話題をお届けしたいと存じます。講演者は岡 和男です。彼の知名度の低さを補うため、彼について若干ご紹介いたします。

「漢字」と言うと、お仕事に直に関係することではないと思われ勝ちで、皆様の興味をそそののは難しいと思われるかもしれませんが、聞いて損はありません。普段の営業活動中の話題としても有効だと思います。漢字は日常接する機会の多い文字です。お客様の名刺をいただいたとき、そのに使われているお名前の漢字から話を広げると親密感をぐっと醸成されます。

漢字にはいろいろ楽しみ方がありますが、今回の話は漢字のでき方、使われ方、人の気まぐれに翻弄されるいじらしさ。人の人生を思い起こされるその生き様など、漢字の周辺に広がるものが中心です。面白・可笑しくお話ししましょう。

今回は1時間半という時間制限がありますので、広く深く掘り下げるのは困難です。そこでテーマは、

1. 漢字はどこで生まれたか
2. 漢字はなぜ字種が多いか

の2点に絞らせていただきます。

ところで、講演者はなぜ岡 和男なのでしょう。岡 和男は写真業界では大方日営協事務局としての存在です。その彼がする漢字の話は果たして有意義なのでしょう。

ご心配なく。実は50歳に至る以前、岡 和男は某写植メーカーにおよそ28年間勤めており、そのうち23年間は文字の調査部門におりました。そこでの仕事の多くは漢字の字形にかかわるものです。どんなことでしょうか。

1980年代はワープロやパソコンのワープロソフトの普及が始まったころで、もう少し時間がたつとプリプレスの生産具としてパソコンが使われだしました。自書による手書きでなく活字での著述が日常生活に入り始めました。活字の形についての存在している諸問題に身近に接する環境ができました。

例えばすでに漢字JISが制定されていましたが、この規格に載せられている文字形の不一致が問題視されました。例えば、シンニョウは第1水準では1点なのに第2水準では2点であるのはおかしい。明朝体で書かれるシンニョウと楷書（手書き）のシンニョウが形が違うのはおかしい、明朝体であろうと楷書のようにくねくねした字形が好ましい、でない教育上子供が混乱するというなどという論理です。そういう疑問に対して過去の歴史から理論的に答えても漢字を知らない相手が理解しがたいことなので論議は収束しないのです。顧客の疑問に正しき対応するため、この理論を強化しなくてはなりません。勢い、書けもしない書の世界や古代中国史にも首を突っ込む羽目に陥り、漢字の知識は深まりざるを得ませんでした。この状況で23年間です。この後退職してから、経歴を買われて3年間は某パソコンメーカーから依頼を受けてOS作りにも参加しました。

そんなことですから話の品質は保証します。また、楽しいお勉強を保証します。難しい話はしません。というかできません。漢字について深い知識を持つ講演者本人が言うのですから、まず間違いはありません。

FAX 通信表

平成 28 年度 日本営業写真機材協会研修会・懇親会参加申込書

参加	平成 28 年度日本営業写真機材協会秋季研修会に 参加・欠席 いたします。
申込日	平成 28 年 月 日
御社名	
ご担当者	
ご連絡先	電話 Fax e-mail
参加者氏名 1	研修会・懇親会
参加者氏名 2	研修会・懇親会
参加者氏名 3	研修会・懇親会

参加する方のお名前と参加される研修会・懇親会に丸をご記入ください。

お申込み期限 **平成 28 年 11 月 11 日 (金)**

ファックスご返信先

03-3293-4332

日営協事務局 岡 和男

お問い合わせの電話は **03-3295-3401**【株光陽モネカ内】まで。

研修会場・懇親会場案内



会場：アルカディア市ヶ谷 白根・妙高

千代田区九段北 4-2-25

電話 03-3261-9921

アクセス：

JR 中央線

都営新宿線

東京メトロ南北線

市ヶ谷駅から徒歩 5 分